

1 ねらい

自分たちの住む仙台市に残されている遺跡や遺物に触れたり、土器作り・石器作りなどの体験学習をしたりすることで、縄文時代の人々の生活の様子について具体的なイメージを持たせる。

2 評価

遺跡の見学や体験学習を通して、縄文時代の人々の生活の様子について具体的なイメージを持つことができたか。

3 学習活動について

- ・総合的な学習の時間「仙台の歴史を探ろう」の中の3時間、社会「縄文のむらから古墳のくにへ」の中の3時間
- ・社会科で学習している日本の歴史と関連させ、自分たちの身近な地域の歴史に関心を持ち、それらを大切にすることを育てたい。

4 事前指導（1時間）

縄文の森広場の概要、日程の説明、学習内容のガイダンス、遺跡見学の留意点など

5 当日の指導（活動）内容

①縄文の森広場

（1）見学学習

復元住居、遺構表示等の野外展示、及び館内の展示見学を予定

（内容）：全体で館職員の説明を聞きながら学習（探検シート利用）

（2）体験学習

土器作り（全員）

②地底の森ミュージアム

（1）見学学習

・地下展示室解説付き見学（全員）

・1F展示室自由見学（1クラスずつ交替で、学習ノート利用）

（2）体験学習

石器作り（1クラスずつ交替で）

6 当日の交通手段 貸し切りバス

7 事後指導

感想文、新聞作りなどを予定

# 利用学習報告書

平成24年7月27日

担当 第6学年 栗石 洋子

## 1 事後指導について

### (1) 実施日

平成24年6月22日(金) 3校時

6月25日(月) 5校時

6月27日(水) 3、4校時

6月29日(金) 3校時

### (2) 主な内容

- ・社会科の授業で、前日行ってきたことを思い出しながら、縄文時代のことについて学習する。  
(学習ノートも使用) <1時間>
- ・総合的な学習の時間で、見学・体験学習をしてきたことをもとに、わかったこと・感想などを  
パソコンを使って新聞にまとめる。 <4時間>

## 2 送付する資料

- ・児童の感想
- ・児童の作成資料(データ)  
パソコンで作った新聞(PDFファイル 7枚、7名分)

# 旧石器新聞

東仙台小  
6年1組  
M.A.  
6月28日

## 旧石器人の暮らし

二万年前の暮らし（旧石器時代）は、縄文時代みたいに家を建てるのではなく、安全な場所を選んでキャンプをしていました。旧石器時代は、夜はとても寒くて一晩中火をたいていないといけなかったそうです。

でも、火をたいているとけものとかオオカミもおそってこないの、みんなで火の番をしながらい晩を過

ごしていたそうです。

私だったら、そのままねてるか最初だけちやんとやって後はうつらうつらとねてしまいたいそうです。

ちゃんと仕事をこなす旧石器人が、とてもすごいと思いました。



うと思いました。

私だったからこんなすごいこととはできないんだら

## 楽しかった石器作り

石器作りでは、けつ岩を使って作りました。その石は、それより固いものでたたくとちゃんときれいにうすく割れてナイフのようになります。

私たちは、そのうすく割れた石を一つだけもらって、だんだん石器の形に仕上げていきました。最初はすごくむずかしかったけど、地底の森ミュージアム

の先生たちに、

「ここはこうするとい

いよ。」

「ここは厚いからやっ

てあげるね。」

というように優しく教えてもらいながら、順調に進めることができました。

教えてくれた人が、

「この石は珍しいものなので、むやみに捨てないでください。これを見つけて、発くつ調査を行うようになるかもしれないからです。」

と言っていたので、石器を大切にしようと思

いました。

そしてクイズもとてもおもしろかったの、また行きたいと思

います。



## 編集後記

二万年前の世界に行つて、旧石器時代の森を見たのは初めてなので、とてもすごいと思いました。

そしてクイズもとてもおもしろかったの、また行きたいと思

終わり

# 旧石器新聞

六年一紙  
Y . H .

## 二万年 前の 氷河期

地下の展示室で二万年前の氷河期のころの遺跡を見てきました。氷河期とは、今より、年平均気温が7・8度低いころをいいます。



旧石器時代の植物や石器、旧石器人について、見てきました。まず、自然の様子に

地下展示室では、二万年前の旧石器時代に住んでいた、旧石器人のキャンプの跡や、石器を作った他にも、そのころにいた、鹿のフンの後が残されています。でも、旧石器人



や鹿の足跡は残されていなかったみたい

写真に写ってる遺跡の中の黒いものは、旧石器時代の木で、針葉樹を主とした湿地林の木の根っこや幹です。一階の展示室では、

ついてです。土地は、周りより低くて、沼や湿地が多い平らな土地です。氷河期の森には、高い木や低い木、草花やシダなどの植物や昆虫がいっぱい生きています。その中でも、アカエゾマツという、木は、絶滅種のトミザワトウヒという木に最も似ているそうです。ほかに、鹿のフンから、ハシバミやササを食べていた事が分かったり、今では、北海道より北でしか、見られない、クロヒメゲンゴロウという水の中に生息している昆虫が、昔は富沢にもいたとい

う事が分かったりと色々な事を発見したそうです。

## 初めての 石器作り

見学の次は、初めての石器作りです。安全のため、ゴーグルと軍手をはめて、石器作り開始です。

石は、山形から取ってきた「けつ岩」という石です。鹿の角で思いつきり、はじっこをたたきます。



出来る上がるものは、両方ともがっているはずだったので、片方だけしか、とがらせられなかったので、ちよつと残念でした。

## 編集後記

今回の校外学習で地底の森ミュージアムで旧石器時代の事について、色々な事が分かりとてもよかったです。旧石器人になったみたいなお事（石器作り）ができて、すごくうれしかったです。

今度は、家族と一緒に、いっぱい体験を試みたいと思いました。



# 校外学習新聞

6月29日  
東仙台小  
6年1組  
M.A.

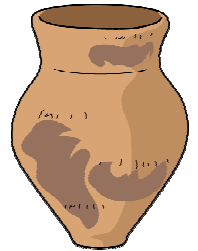
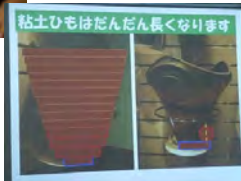
## 土器作りに 挑戦

六月二十一日、私達は二つの場所へと校外学習に行った。社会の勉強ということで「縄文の森広場」と「地底の森ミュージアム」だ。最初に行ったのは縄文の森広場。

バスが走ること約一時間、縄文の森広場に到着。あいさつの係の人があいさつし終わったらすぐに土器作りの部屋に移動した。土器作りの先生みたいな人が数分、土器とは何かということと作り方を

説明した。まず粘土をやわらかくする作業だ。素早くやらないと粘土がかわいてしまうらしい。次に土器の底作り、全体の模様というような流れでやった。私は紙に書いてきたデザインと全然ちがう形、模様で土器を作った。とてもシンプルな感じだった。素早くやったからとてもいびつで、デコボコがいっぱいだ。でも、とても思いついた品ができてよかった。今度は、友達といっしょに来て土器を作りたい。この経験が社会の授業で役にたてばと

思う。



## 二万年もの時を 経た遺跡

最初に縄文の森広場の地底の森ミュージアムに行った。地底の森ミュージアムでは、旧石器人の活動の舞台となつた二万年前の風景を「氷河期の森」として野外に復元している。調査でわかった地形や植物にもとづき、草原の沼・湿地を作り、その中におよそ九十種類の植物を当時のように配置し、氷河期の森の様子を実感できるようにしている。私達は最初に遺跡が展

示されている場所へと行った。そこは針葉樹を主とする湿地林の跡と旧石器人のキャンプ跡が見つかった場所だった。約十分におよぶ映画を見たり、二万年前から現在までの地層断面の説明を聞いたりして楽しく遺跡を見た。今回は、二万年前の遺跡ということで少しは想像していたが、まさかこんな大きなものだとは思わなかった。また来た時、ゆっくり見たい。

編集後記  
土器作りがとても楽しかったです。



# 校外学習新聞

6月29日  
東仙台小  
6年1組  
H.I.

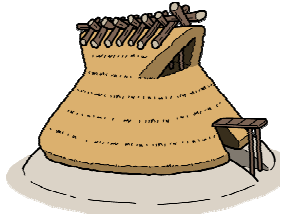
## 縄文の森広場

縄文の森広場では、縄文時代の暮らしを学んだり、土器作りをしたりしました。

外には、復元住居などいろいろなものがありました。

最初に体験したのは土器作りです。

土器作りでは、土のねん土で土器を作りました。ぼくは、つぼを作る予定だったのに、コップを作ってしまった。でも、上手くできたのでよかったです。



見学では、縄文土器や石器などがたくさんあってもしろかったです。外では広い広場に縦穴住居が3つありました。ぼくたちはそこで昼飯を食べました。いたる所にL字の物がありました。縦穴住居の中はせまく暗くて、少しくさかったです。木はくさりにくい木を使っていましたそうです。

## 地底の森ミュージアム

地底の森ミュージアムでは、地下に2万年前の遺跡が展示してあり、辺りは暗く、木の根っこがたくさんあり

ました。2万年前は今よりも土地が低かったこともわかりました。

途中、大きなスクリーンが出てきて、昔の生活を再現した映画を見ました。

遺跡を見た後は、上で2万年前の道具など



を見ました。展示室にも再現した物がたくさんありました。そこでは、クイズなどをして回りました。

見学が終わると、石器作りをしました。

石器作りでは、鹿の角で石をたたいて作りました。石は思いどおりに割れず、変な形になってしまいました。



でも作っていると、とがっている所も出てきたので良かったです。

最初に見せてくれた石器は、切れ味もすぐく紙はきれいに切れていました。でもぼくのは切れ味が悪かったので、紙が破けてしまいました。

ぼくのは木の葉の形にはならず、変な形になりました。映画でやっていたものは、ぼくのととは比べ物にならないくらいよかったです。石器は肉を切るために使ったり武器に使ったそうです。

## 編集後記

ぼくは、この新聞を書く時、たくさんのごとがあったので、書きやすかったです。

# 歴史新聞

東仙台小  
六年一組  
H . Y .  
6 月 2 8 日

## 縄文の森広場に 行っただよ!

六月二十一日に縄文の森広場と地底の森ミュージアムに行きました。

まず、最初に縄文の森広場に行きました。着いてからは、館内で土器作りをしました。約一時間で作りました。ねん土をやわらかくして、作っていくので手がいたくなっただけ、ちゃんと形がいい土器を作れたので良かったです。

一ヶ月後に、出来上



がった土器を見るのが楽しみです。

土器を作った後は一組、二組に分かれて見学しました。たて穴式住居も見

ました。見学した後は、広場で昼食をとりました。

食べた後は、自由見学をしました。見学す

る時間はあまりなかったけど、しっかり勉強できたと思います。

## 地底の森 ミュージアムに 行っただよ!

次に、地底の森ミュージアムに行きました。

着いたらまた、一組、二組にわかれて行動しました。一組は、昔の人のくらしなどについて勉強しました。

約7分の映画を見た後に、二組と交代して石器作りをしました。

石器は、石を鹿の角でたたいてけずってつくりました。最初は全然けずれなくて石器らしくなかつただけだんだん慣れてくると、け



ずれるようになってきて、石器らしくなりました。

出来た石器は危ないので新聞紙に包んで持ち帰りました。

石器に使う石はとても貴重な石で、仙台ではめったに採れないと聞いたので、とてもいい体験が出来たと思います。

機会があつたらまたやりたいです。

## 編集後記

どちらもあまり行ったことがないので、いい体験になったと思います。

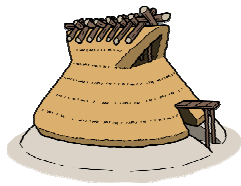
土器・石器作りはとても貴重な体験だったと思うので作ることができてよかったです。



# 校外学習新聞

六月二十一日、私たちは縄文の森広場と地底の森ミュージアムに行った。

## 縄文の森広場 & 地底の森ミュージアム！



縄文の森広場では、縄文土器作り、広場 & 館内見学をした。  
縄文の森広場の次は、地底の森ミュージアム。ここでは、見学、石器（やりの先）作りをした。

### 縄文の森広場～土器作り～

縄文の森での体験学習は、縄文土器作り。宿題でデザインをかくてくることになり、かいたといえばかいたが、自分で、「これ、ちゃんとデザイン通りに作れっかな」と思っていた。そして、土器を作る時間になり、作り始めて少し経ったころ、先生に、「この三人一番小さいと思うよ」と言われ、なんとかして少しでも大きくなるようにやっていたら、自分でかいたデザインと全く異なり、「やっぱり...」と思いながら作って

いた。そして今度は、「ねん土全部使えよ」と言われたが、使うところがなく、近くの子に相談した。その子は「とつてにしたら？」と言ってくれた。その子の言う通り、とつてん土は余ってしまった。でも、とりあえず、自分がかいたデザインとは異なったが、ちゃんと作れたからよかっただろう。



発行日  
6月27日  
発行者  
東仙台小  
6年1組  
M.S.

### 地底の森ミュージアム～石器作り～

地底の森ミュージアムでは、石器（やりの先）作り。  
自分達で石を選び、教えてもらって作業開始。  
どんどんわかっていて、だんだんわれなくなり、「すみません、われなくなっちゃったんですけど...」  
とやって、やってもらったら、「ここ先たんにすればいいべ」と言っていて、先たん部分をとがらせてくれた。  
「もうこれ以上はとがらねえべなあ...はい、あなた完成ね？」  
と言われ、完成した。自分で作った石器は、

死ぬまで大切に保管したい。



### 編集後記

私は、今回の校外学習で縄文の森広場と地底の森ミュージアムに行き、縄文時代の前の時代のこと、だいぶたくさんのことを学べたと思います。  
これからも、社会の勉強での歴史の勉強をがんばりたいです。



# 校外学習新聞

6年1組  
Y.K.

## 縄文の森

### 広場

縄文の森広場では、体験学習で、縄文土器を作りました。

土器のねん土は、かたく、すなが入っているねん土らしいです。手でベタベタさわっているとすぐかんそうしてしまふし。水をつけすぎると、かんそうさせるときにわけてしまふ、と説明され、私は、むずかしそうでした。安でした。

まずはそこ作りです。ピンポン玉くらいの大さの玉をねん土で作って、それをつぶして作



りました。けっこうひびが入り、大変でした。次に、ねん土で糸みたいなのを作り、水をつけ、糸をつけ、糸と底の境目をくっつける作業です。糸の大きさや長さは大変でした。それに、底と上の部分を別々に作ると思いませんでした。作り方は想像とちがいました。文様は、私は竹ぐし

みたいなものでつけました。竹ぐしで文様をつけていたら石に当たり、

つけにくかったです。いつになるかはわかりませんが、できあがるのがすごく楽しみです。

## 地底の森

### ミュージアム

### ミュージアム

地底の森ミュージアムでは、体験学習で、石器を作りました。

石器作りの石は山形にあるらしく、作ったあとそこらへんにすててはいけならしいので、びっくりしました。

石器は、石よりもかたかないシカのつのでわって作りました。私は、真つ二つにわって

しまいました。真つ二つにはわれたけど、きれいとがったようにはわれませんでした。時間も短いように感じました。

石器ができあがり、紙をきってみました。

はさみよりはギザギザだったけど、石で紙をきるなんてすごいな、と思いました。大人になっても縄文土器といつしよに大事にとっておきたいです。



## お昼ごはん

お昼ごはんの時、友だちと食べました。私は三人より食べるのがおそかったのですが、おいしかったです。

食べ終わってみんなで館内に行こうとしたら、わたしがすべて転んでしまいました。なんでこんなときに転ぶんだろうと思いましたが、4人で館内に行きました。

ベランダに行ったりスタンプをおしたりして、楽しかったです。

## 編集後記

土器と石器作りは思っていたものとはちがい大変でした。体験学習で学んだことを生かしたいです。

## 「地底の森ミュージアム」へ行っての感想

仙台市立東仙台小学校 6年

地底の森ミュージアムの遺跡見学が印象に残りました。どんな遺跡なのか、楽しみにしていました。木の根の遺跡は始めて見ました。長い年月が感じられました。これが遺跡なんだと思いました。初めて見るものや、初めて体験するものばかりで、とてもいい勉強になりました。

私は地底の森ミュージアムで、初めて石器作りをしたのが楽しかったです。思ったより上手にできました。石器作りだけでなく、2万年前の森の遺跡も見ました。とても大きいなあと思いました。



地底の森ミュージアムでの見学では、今の地面より昔（2万年前）は5mも低かったということや、昔の人の暮らしについて学ぶことができ、とても勉強になりました。また石器作りでは、地底の森の先生に教えてもらい、昔の人の暮らしはとても大変だったことが分かりました。

一番印象に残ったのは、旧石器人がそれぞれちゃんと仕事をしていたことです。ぼくは、昔の人は全然知識がないと思っていたけれど、違うんだなと思いました。いい勉強になりました。

石器作りは、正直どうやって作るのか想像すらできませんでした。先生がやるのを見て驚きました。石を選んで自分でけずっていくのは、最高に楽しかったです。かなりきれいな石器ができて、とてもうれしかったです。ぜひ、また行きたいです。

石器は、まちがって真ん中をたたいてしまい、真っ二つにわれてしまったので残念でしたが、紙を軽い力できちんと切ることができたのでうれしかったです。親に石器を見せたら、「すごいね。」と言われました。大切にとっておきたいと思います。

